



☆☆新規採用者からのメッセージ☆☆

入局して1年以内の職員の方々のリアルな声を聞いてみました！

近畿運輸局 自動車監査指導部

【事務官】
令和7年4月入局

近畿運輸局を志望したきっかけは何ですか？

はじめは国家一般職にどのような仕事があるかよくわからない状態で、様々な官庁の説明会に参加していました。その際に、交通政策や観光といった幅広い業務に携わることができることに魅力を感じたことがきっかけです。そして座談会や官庁訪問に参加する中で、担当者さんの明るく、仲の良さそうな雰囲気惹かれ、近畿運輸局を志望しました。

職場の雰囲気は？

明るく、メリハリがあり、困ったことがあれば相談しやすい雰囲気があります。また、私が電話対応している際は先輩方が耳を澄まして聞いてくださり、何かあったときに助けられるよう準備をしてくださっています。

最近では、先輩方が初めて郵便局の立入検査に入ったときのことが印象に残っています。テレビで報道されるような大きな出来事で当日は緊張感がありましたが、先輩方が帰ってくると部署のみんなが「お疲れ様！」と言って笑顔になっていたことが印象的でした。

同期で集まることはありますか？

同期で集まる機会と言えば研修です。初年度ならではの研修や配属先での研修など様々な研修があります。また、研修後に懇親会等が開催され、一緒にご飯に行くこともあります。

また、私は部署内に同期が一人いるので彼とはよく話をします。働き始めると同期が頼りになる存在になると思うので、つながりを大切にしてほしいです。



仕事へのやりがいとは？

以前は知らなかった知識が身につく一般の方のお問い合わせに答えることができたときや、貸切バスの街頭監査に初めて参加したときなど、自分のできることが増え、成長を実感できたときにやりがいを感じます。また、このような業務を通じて輸送の安心・安全の確保の一端を担っていることに大きなやりがいを感じます。

最後に、国家公務員を目指す受験生へ熱いメッセージをお願いします。

国家公務員の仕事には、医療や教育などの身近なことから、国家財政や安全保障といった社会全体に関わることまで幅広いものがあります。だからこそ、できるだけ多くの業務説明会や官庁訪問に参加することが大切だと思います。すると、「この仕事に携わりたい！」や「この人たちと一緒に仕事がしたい！」といった気持ちを持てる官庁に出会えると思います。その気持ちを近畿運輸局で持ってもらえるととても嬉しいです！応援しています！

